

漢方処方製剤・生薬製剤 重要問題

◇ 漢方処方製剤

漢方薬は古来中国から伝わり、日本の伝統医学に基づく。現代の中国や韓国の薬とは区別される

一般用医薬品では「証」という専門用語は避け、「しぼり」として記載される

年齢の下限がなくても、生後3ヵ月未満の乳児には使用しない

◇ 生薬製剤

西洋医学的な基調の上にたち、定まった処方はない

■ 成分

▶「医薬品成分一覧 暗記リスト」を参照

重要問題

問1 漢方処方製剤に関する記述の正誤について、正しい組合せを一つ選べ

- a すべての漢方処方製剤は、作用が穏やかで、長期間(1ヶ月位)継続して服用しないと効果が得られない
 - b 漢方処方製剤を利用する場合、「証」の概念を良く理解し、漢方処方製剤が使用される人の体質と症状を十分に踏まえ、処方が選択されることが重要となる
 - c 全ての漢方処方製剤は、処方に基づく生薬混合物の浸出液を濃縮して調製された乾燥エキス製剤を散剤等に加工して市販されている
 - d 漢方薬は、現代中国で利用されている中医学に基づく薬剤と同じものである
- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 4 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |

問2 肥満症又は肥胖症に用いられる漢方処方製剤に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 防己黄耆湯は、体力中等度以下で、疲れやすく、汗のかきやすい傾向があるものの肥満に伴う関節の腫れや痛み、むくみ、多汗症、肥満症(筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり)に適すとされる。
- 2 防風通聖散は、体力が充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症、湿疹・皮膚炎、ふきでもの、肥満症に適すとされる。
- 3 大柴胡湯は、体力が充実して、脇腹からみぞおちあたりにかけて苦しく、便秘の傾向があるものの胃炎、常習便秘、高血圧や肥満に伴う肩こり・頭痛・便秘、神経症、肥満症に適すとされる。
- 4 構成生薬として防己黄耆湯と防風通聖散にはカンゾウが含まれ、防風通聖散と大柴胡湯にはマオウが含まれている。

問3 50歳代の女性、体力中等度以下で、手足が冷え、肩もこっており、頭痛と吐きけがある。この女性に適している漢方処方製剤はどれか。

- 1 疎経活血湯 (そけいかっけつとう)
- 2 桂枝加朮附湯(けいしかじゆつぶとう)
- 3 麻杏薤甘湯 (まきょうよくかんとう)
- 4 呉茱萸湯 (ごしゆゆとう)
- 5 芍薬甘草湯 (しゃくやくかんぞうとう)

問4 次の記述は、生薬に関するものである。該当する生薬として、正しいものを1つ選びなさい。

サルノコシカケ科のマツホドの菌核で、通例、外層をほとんど除いたものを基原とする生薬で、利尿、健胃、鎮静等の作用を期待して用いられる。

- 1 サイコ
- 2 ポウフウ
- 3 ショウマ
- 4 ブクリョウ
- 5 レンギョウ

問 5 生薬製剤の代表的な生薬成分及びその目的とする作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア ブクリョウ — 利尿、健胃、鎮静作用
- イ サンザシ — 発汗、解熱、解毒、消炎作用
- ウ カッコン — 解熱、鎮痙作用
- エ ブシ — 健胃、消化促進作用

1(ア、イ) 2(ア、ウ) 3(イ、エ) 4(ウ、エ)

問 6 鎮咳去痰薬に配合される生薬成分及び漢方処方製剤に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a セキサンは、ヒガンバナ科のヒガンバナ鱗茎を基原とする生薬で、去痰作用を期待して用いられる。
- b キョウニンは、キキョウ科のキキョウの根を基原とする生薬で、痰又は痰を伴う咳に用いられる。
- c 麦門冬湯は、体力中等度以下で、痰が切れにくく、ときに強く咳こみ、又は咽頭の乾燥感があるものから咳、気管支炎、気管支喘息、咽頭炎、しわがれ声に適すとされるが、水様痰の多い人には不向きとされる。
- d 半夏厚朴湯は、構成生薬としてカンゾウを含む。

1(a, b) 2(a, c) 3(a, d) 4(b, c) 5(c, d)

問 7 第1欄の記述は、かぜ薬として使用される漢方処方製剤に関するものである。第1欄の記述に該当するものは第2欄のどれか。

第1欄

体力中等度又はやや虚弱で、多くは腹痛を伴い、ときに微熱・寒気・頭痛・吐きけなどのあるものの胃腸炎、かぜの中期から後期の症状に適すとされる。

第2欄

- 1 桂枝湯 2 小青竜湯 3 柴胡桂枝湯 4 麻黄湯 5 香蘇散

問 8 かぜの症状緩和に用いられる漢方処方製剤に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 葛根湯は、重篤な副作用として肝機能障害、偽アルドステロン症を生じることが知られている。
- 2 麻黄湯は、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)は使用を避ける必要がある。
- 3 小柴胡湯は、まれに重篤な副作用として間質性肺炎、肝機能障害を生じることが知られている。
- 4 小青竜湯は、体力中等度で、ときに脇腹からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの、食欲不振、疲労感、かぜの後期の諸症状に適すとされる。

問 9 次の表は、ある小児鎮静薬に含まれている成分の一覧である。

1日量(60粒中)			
ジャコウ	1.0mg	ゴオウ	9.0mg
レイヨウカク	30.0mg	ギユウタン	12.0mg
ニンジン	110.0mg	オウレン	60.0mg
カンゾウ	60.0mg	チョウジ	9.0mg

この一般用医薬品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a ジャコウは、緊張や興奮を鎮め、また、血液の循環を促す作用を期待して用いられる。
- b チョウジは、香りによる健胃作用を期待して用いられる。
- c カンゾウは、他の医薬品等から摂取されるグリチルリチン酸も含め、その総量が継続して多くならないよう注意されるべきである。
- d ゴオウは、緊張や興奮を鎮め、また、血液の循環を促す作用を期待して用いられる。

- 1 a正 b正 c正 d正
- 2 a正 b誤 c誤 d誤
- 3 a正 b正 c正 d誤
- 4 a誤 b正 c誤 d正
- 5 a誤 b誤 c正 d誤

問 10 婦人薬として用いられる主な漢方処方製剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 加味逍遙散は体力中等度以下で、手足がほてり、唇が乾くものの月経不順、月経困難、こしけ(おりもの)、更年期障害、不眠、神経症、湿疹・皮膚炎、足腰の冷え、しもやけ、手あれ(手の湿疹・皮膚炎)に適すとされるが、胃腸の弱い人では、不向きとされる。
- b 五積散は、体力虚弱で、冷え症で皮膚が乾燥、色つやの悪い体質で胃腸障害のないものの月経不順、月経異常、更年期障害、血の道症、冷え症、しもやけ、しみ、貧血、産後あるいは流産後の疲労回復に適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)、胃腸の弱い人、下痢しやすい人では、胃部不快感、腹痛、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。
- c 当帰芍薬散は、体力中等度又はやや虚弱で、冷えがあるものの胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒に適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、不向きとされる。
- d 桂枝茯苓丸は、比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの、月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こり、めまい、頭重、打ち身(打撲症)、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎、にきびに適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)では不向きとされる。

- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 誤 | 正 |

問 11 第1欄の記述は、かぜ(感冒)の症状緩和に用いられる漢方処方製剤に関するものである。該当する漢方処方製剤は第2欄のどれか。

第1欄

体力中等度以上のものの感冒の初期(汗をかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛みに適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、悪心、胃部不快感等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。まれに重篤な副作用として肝機能障害、偽アルドステロン症を生じることが知られている。

第2欄

- 1 薏苡仁湯
- 2 呉茱萸湯
- 3 小柴胡湯
- 4 小建中湯
- 5 葛根湯

問 12 次の記述にあてはまる漢方処方製剤として、最も適切なものはどれか。

体力に関わらず使用でき、排尿異常があり、ときに口が渇くものの排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿、むくみに適すとされる。

- 1 五積散
- 2 四物湯
- 3 黄連解毒湯
- 4 清上防風湯
- 5 猪苓湯

問 13 次のかぜ(感冒)の症状緩和に用いられる漢方処方製剤のうち、構成生薬としてマオウを含むものはどれか。

- 1 小柴胡湯
- 2 半夏厚朴湯
- 3 葛根湯
- 4 麦門冬湯
- 5 香蘇散

問 14 強心薬及びその配合成分に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a ロクジョウは、シカ科のジャコウジカの雄の麝香腺分泌物を基原とする生薬で、強心作用のほか、呼吸中枢を刺激して呼吸機能を高めたり、意識をはっきりさせる等の作用があるとされる。
- b シンジュは、ウグイスガイ科のアコヤガイ、シンジュガイ又はクロチョウガイ等の外套膜組成中に病的に形成された顆粒状物質を基原とする生薬で、鎮静作用等を期待して用いられる。
- c センソは、ヒキガエル科のアジアヒキガエル等の耳腺の分泌物を集めたものを基原とする生薬で、有効域が比較的狭く、一般用医薬品では1日用量が5mg以下となるよう用法・用量が定められており、それに従って適正に使用される必要がある。
- d リウノウは、中枢神経系の刺激作用による気つけの効果を期待して用いられる。

- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 5 | 誤 | 正 | 正 | 正 |

問 15 以下の記述にあてはまる漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選びなさい。

体力中等度又はやや虚弱で、冷えがあるものの胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒に適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、不向きとされる。構成生薬としてマオウを含む。

- 1 温清飲
- 2 補中益気湯
- 3 五積散
- 4 四物湯
- 5 当帰芍薬散

問 16 鎮咳去痰薬に配合される生薬成分に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a ナンテンジツは、メギ科のシロミナンテン(シロナンテン)又はナンテンの果実を基原とする生薬で、知覚 神経・末梢運動神経に作用して 咳せき止めに効果があるとされる。
 - b バクモンドウは、ヒメハギ科のイトヒメハギの根を基原とする生薬で、去痰作用を期待して用いられる。
 - c ゴミシは、オオバコ科のオオバコの花期の全草を基原とする生薬で、咳嗽中枢を鎮静させる作用を示す。
 - d セキサンは、ヒガンバナ科のヒガンバナ 鱗茎を基原とする生薬で、去痰作用を期待して用いられる。
- a b c d
- 1 正 正 正 正
 - 2 正 誤 誤 正
 - 3 正 誤 誤 誤
 - 4 誤 誤 正 誤
 - 5 誤 正 誤 正

問 17 生薬成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a サンザシは、バラ科のサンザシ又はオオミサンザシの偽果をそのまま、又は縦切若しくは横切したものを基原とする生薬で、健胃、消化促進等の作用を期待して用いられる。
 - b カッコンは、マメ科のクズの周皮を除いた根を基原とする生薬で、解熱、鎮痙等の作用を期待して用いられる。
 - c ショウマは、セリ科のボウフウの根及び根茎を基原とする生薬で、発汗、解熱、鎮痛、鎮痙等の作用を期待して用いられる。
 - d サイコは、セリ科のミシマサイコの根を基原とする生薬で、抗炎症、鎮痛等の作用を期待して用いられる。
- a b c d
- 1 誤 正 正 誤
 - 2 正 正 誤 正
 - 3 正 誤 正 誤
 - 4 誤 正 誤 正
 - 5 正 誤 正 正

問 18 第1欄の記述は、カンゾウ、マオウ及びダイオウを含む漢方処方製剤に関するものである。該当する漢方処方製剤は第2欄のどれか。

第1欄

体力が充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症、湿疹・皮膚炎、ふきでもの、肥満症に適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)、胃腸が弱く下痢しやすい人、発汗傾向の著しい人では、激しい腹痛に伴う下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

第2欄

- 1 十全大補湯
- 2 防風通聖散
- 3 大柴胡湯
- 4 清上防風湯
- 5 黄連解毒湯

問 19 泌尿器用薬として用いられる配合成分及び漢方処方製剤に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 日本薬局方収載のウウウルシ及びカゴソウは、いずれも煎薬として残尿感、排尿に際して不快感のあるものに用いられる。
- 2 ブクリョウはツツジ科のクマコケモモの葉を基原とする生薬で、利尿作用のほかに、経口的に摂取した後、尿中に排出される分解代謝物が抗菌作用を示し、尿路の殺菌消毒効果を期待して用いられる。
- 3 猪苓湯(ちよれいとう)は体力に関わらず使用でき、排尿異常があり、ときに口が渴くものの排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿、むくみに適すとされる。
- 4 竜胆瀉肝湯(りゅうたんしゃかんとう)は、むくみ、心臓病、腎臓病又は高血圧のある人や高齢者では偽アルドステロン症を生じるリスクが高いため、事前にその適否を十分考慮するとともに、慎重に使用する必要がある。

問 20 胃の薬及びその配合成分に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a センブリは、苦味による健胃作用を期待して用いられるほか、日本薬局方収載のセンブリ末は瀉下薬として用いられる。
 - b ユウタンは、クマ科のヒグマその他近縁動物の舌を乾燥したものを基原とする生薬で、香りによる健胃作用を期待して用いられる。
 - c 人參湯は、体力虚弱で、疲れやすくて手足などが冷えやすいものの胃腸虚弱、下痢、嘔吐、胃痛、腹痛、急・慢性胃炎に適すとされる。
 - d 平胃散は、体力中等度以下で腹部筋肉が弛緩する傾向にあり、胃痛又は腹痛があつて、ときに胸やけや、げっぷ、食欲不振、吐きけなどを伴うものの神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱に適すとされる。
- a b c d
- 1 正 誤 正 正
 - 2 誤 誤 正 誤
 - 3 正 正 誤 誤
 - 4 正 正 正 正
 - 5 誤 誤 誤 正

問 1 【正解3】a×「漢方薬はすべからく作用が穏やかで、副作用が少ない」というのは誤り。b○ c×散剤等に加工して市販されているものが多いが、エキス剤、丸剤等も存在する。d×現代中国で利用されている中医学に基づく薬剤は、漢方薬ではなく、中薬と呼ばれ、漢方薬とは区別される。

問 2 【正解4】 大柴胡湯にはマオウは含まれていない。

問 3 【正解4】

問 4 【正解4】

問 5 【正解2】ア○ イ×サンザシ は健胃、消化促進作用 ウ○ エ×ブシは血液循環改善、利尿、鎮痛作用

問 6 【正解2】a○b×記述は、「キキョウ」の内容。c○ d×半夏厚朴湯は、構成生薬としてカンゾウを「含まない」。

問 7 【正解3】「かぜの中期から後期の症状」は、柴胡桂枝湯のキーワードとして覚えるとよい

問 8 【正解4】小青竜湯ではなく、「小柴胡湯」の内容。

問 9 【正解1】a○ b○ c○ d○

問 10【正解5】a×記載は、温経湯の内容。b×記載は、四物湯の内容。c×記載は、五積散の内容。d○

問 11【正解5】

1 薏苡仁湯：体力中等度なもの関節や筋肉のはれや痛みがあるもの関節痛、筋肉痛、神経痛に適すとされる。

2 呉茱萸湯：体力中等度以下で手足が冷えて肩がこり、ときにみぞおちが膨満するもの頭痛、頭痛に伴う吐きけ・嘔吐、しゃっくりに適すとされる。

3 小柴胡湯：体力中等度で、ときに脇腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくもの食欲不振、吐きけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、かぜの後期の諸症状に適すとされ、また、胃腸虚弱、胃炎のような消化器症状にも用いられる。

4 小建中湯：体力虚弱で疲労しやすく腹痛があり、血色がすぐれず、ときに動悸、手足のほてり、冷え、ねあせ、鼻血、頻尿及び多尿などを伴うものの小児虚弱体質、疲労倦怠、慢性胃腸炎、腹痛、神経質、小児夜尿症、夜なきに適すとされる。

5○

問 12【正解5】

問 13 【正解3】

問 14 【正解5】a×ロクジョウではなく「ジャコウ」の内容。b○ c○ d○

問 15 【正解3】

問 16 【正解2】a○ b×記載は「オンジ」の内容。バクモンドウは、ユリ科のジャノヒゲの根の膨大部を基原とする生薬で、鎮咳、去痰、滋養強壮等の作用を期待して用いられる。c×記載は「シャゼンソウ」の内容。ゴミシは、マツブサ科のチョウセンゴミシの果実を基原とする生薬で、鎮咳作用を期待して用いられる。 d○

問 17 【正解2】a○b○c×記述は、「ボウフウ」の内容。ショウマは、「キンポウゲ科のサラシナショウマ、フブキショウマ、コライショウマ又はオオミツバショウマの根茎を基原とする生薬で、発汗、解熱、解毒、消炎等の作用を期待して用いられる。」d○

問 18 【正解2】

問 19【正解2】記述は、「ウワウルシ」の内容。ブクリョウは、サルノコシカケ科のマツホドの菌核で、通例、外層をほとんど除いたものを基原とする生薬で、利尿、健胃、鎮静等の作用を期待して用いられる。

問 20 【正解2】 a×センブリは、苦味による健胃作用を期待して用いられるほか、日本薬局方収載のセンブリ末は『止瀉薬』として用いられる。 b×ユウタンは、クマ科のヒグマその他近縁動物の『胆汁』を乾燥したものを基原とする生薬で、『苦味』による健胃作用を期待して用いられる。c○ d×記載は「安中散」の内容。